

西伊豆町で園児らによるカサゴ放流

令和2年9月2日に西伊豆町において、カサゴの種苗放流が行われました。この取り組みは、西伊豆町の民間企業が水産資源の確保と地域貢献（CSR活動）を目的に、伊豆漁協田子支所の協力を得て毎年行われています。各地先では漁業者により船上から放流が行われました。放流数は、田子6,000尾、仁科1,600尾、安良里1,600尾でした。放流したカサゴ種苗は愛知県の種苗生産会社から購入したもので、放流時の平均体長は121mmでした。

同日には、西伊豆町内の伊豆海認定こども園の4～5歳の園児18名により、大田子海岸からも種苗放流が行われました。カサゴ600尾に加え、ヒラメ200尾、メバル200尾も放流されました。その際、当场からは園児へ向けて、カサゴの生態などについて説明しました。

なお、例年西伊豆町のカサゴ放流は5月に行われていましたが、今年はコロナ感染拡大の影響で9月の実施となりました。当日は、園児が参加することもあり、参加者全員がマスク、またはフェイスシールドを着用し、園児への説明に際しては大人の人数を制限するなど、コロナ対策の下で放流体験が実施されました。



カサゴなどを放流する園児



船上から放流する漁業者

(鈴木聡志)